

NAGASAKI UNIVERSITY




SCHOOL OF GLOBAL HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES

The School of Global Humanities and Social Sciences at Nagasaki University was established in 2014 to train individuals to acquire the skills, judgment, sensitivity, and ability to take action as independent people who can thrive in the modern globalized world.

多文化社会学部
2024



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



地域の視点から世界を俯瞰し、 グローバルな視点から地域を考える、 人間性豊かな人材を育成します。

育成する人材像

グローバル化する世界において、人文社会系諸分野の幅広い知識を基礎として、社会的・文化的・言語的多様性の観点から、その意義を理解できる。

英語を中心とした高度な外国語運用能力を有し、グローバル化する世界の多文化状況において、円滑にコミュニケーションおよびプレゼンテーションを遂行できる。

多文化社会が抱える様々な課題や現象について、適切なデータ・史資料の収集・分析、課題の発見・整理、調査の企画や実行を行うことができる。

多様な人々と共生的な関係を築き、問題解決に向けて、パートナーシップやリーダーシップを発揮して行動できる。



グローバル世界の理想と現実から目指す人文社会〈知〉

日本で唯一、「多文化社会」という言葉を冠にした本学部は、冷戦の終わりを告げたベルリンの壁崩壊からちょうど四半世紀後の2014年4月に、人文社会系グローバル人材の育成を目標に掲げて設立しました。10年の歳月が過ぎようとしています。現代世界は、冷戦終結時に予想したような均一に広がる紛争もなき平穏な楽観の世界ではなく、民族や宗教を中心にした文明圏同士さらに文明内の内なる対立と分裂が一層、際立っています。新型コロナウイルスによって浮彫にされた地球を覆う変化の片鱗はどのような世界の予兆であったのか。

私たちは現在、新しい世界の道筋を見出すために、学部名称に理想として掲げた多様な文化が共生する世界像とは全く対照的な現実世界を、読み解く知的な営為が従来以上に求められています。政治学者のE.Hカーは第一次大戦から第二次大戦に至る20年間のヨーロッパの激動を描いた『危機の二十年』（1946）のなかで、「願望は思考の父」といいました。理想を目的に掲げて自由に構想するだけでは何も生み出されず、それは理想ではなく幻想にすぎない。逆に厳しい現実のみに焦点をあてた思考からも何も生まれません。

さまざまな脅威とリスクに侵食されている世界各地の現状は同様ではありません。多文化が共生する社会という新しい世界像を探求し現実を冷静に

分析する。本学部はいわば理想と現実の双方を探求するための学部といえます。人文社会科学を領域横断的に、哲学・思想—科学—実践までを一体的に連続して学ぶカリキュラムによって、グローバル世界のニーズに応える体制をとっています。グローバル(地球)、リージョナル(国境を跨ぐ地域)、ナショナル(国家)、ローカル(地方社会)の各スケール(ものさし)を複合化した総合的な人文社会科学の知識と、外国語コミュニケーション能力の二つを同時に併せ持つ人間—人間が生きていくための人文社会〈知〉の獲得が、多文化社会学部の目指す長崎に根差した特色ある教育の探求です。国際公共、社会動態、共生文化の3つの専門研究領域を設け専門知識と外国語を系統的に学びます。加えて、留学、海外フィールドワーク・インターンシップなど実践的な学びを通じて高度なコミュニケーション能力と広い視野を培い、世界へと羽ばたいてください。

一年の計は穀を樹うるに如くは莫く、十年の計は木を樹うるに如くは莫く、終身の計は人を樹うるに如くは莫し。……一樹百穫なる者は人なり。(『管子』)

この言葉の通りに、多文化社会学の創成も、長崎から新しい世界の価値と文化を創造するグローバルな人材の育成も終身の計として掲げて、新しい世界の在り方について共に考えていきましょう。



学部長 森川裕二

2014年4月より長崎大学多文化社会学部へ着任。2023年4月より多文化社会学部学部長へ。

専門は東アジアの国際関係、国際政治学の方法と理論。



「ローカル」から「グローバル」を目指す

世界を学びのステージにする

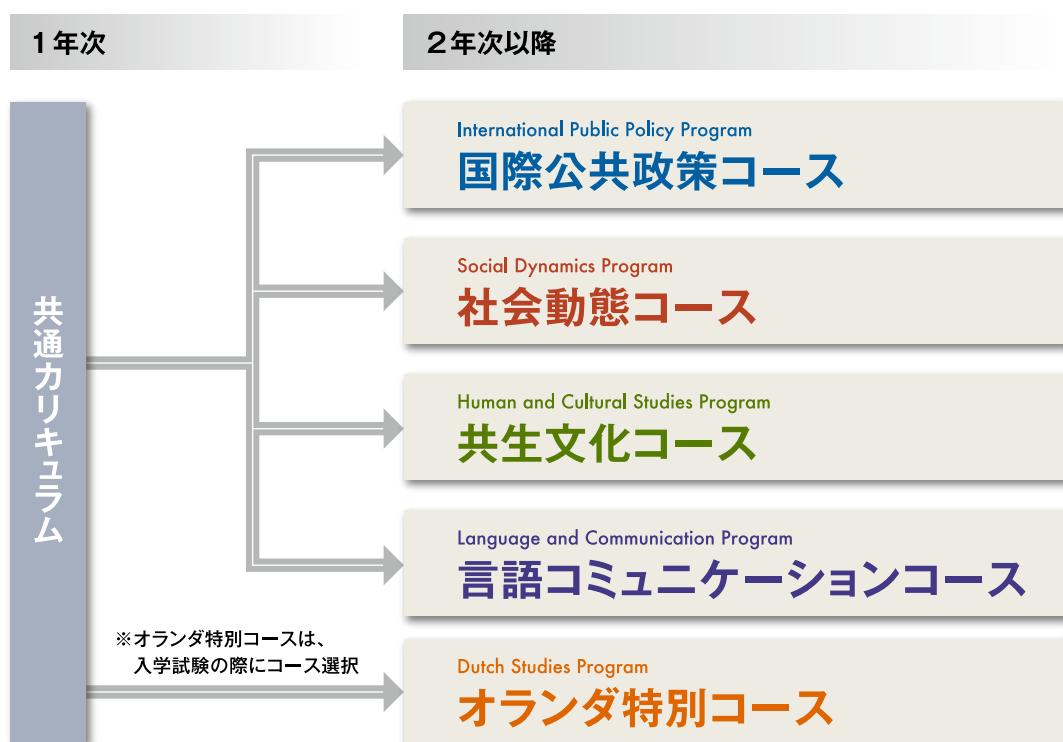
特色ある5つのコース

国際社会が抱える様々な課題を分析する国際公共政策コース、
人・モノの動きから世の中をとらえる社会動態コース、多様な文化の理解から共生を考える共生文化コース、
適切な言語運用の力を身につける言語コミュニケーションコース、
そして、オランダを切り口に現代の欧州を学ぶオランダ特別コースの5コースで構成されています。
自分が学びたいコースに進み、目標に向かってチャレンジしてください。

国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び

言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定します。

※指定された科目を修得した場合は、オランダ特別コースを選択することも可能



取得できる免許・資格

高等学校教諭 一種免許状 (英語)

言語コミュニケーションコースの学生に限り、教育職員免許状取得に必要な科目の単位を全て修得することで、卒業時に「高等学校教諭一種免許状(英語)」を取得することができます。ただし、3年次以降に中長期留学を行う場合、4年卒業での免許状の取得ができません(5年卒業)。

日本語教員 養成プログラム

多文化社会学部の日本語教員養成プログラムの所定の単位数を取得し卒業する場合、卒業時に修了証が交付され、登録日本語教員になるための日本語教員試験の基礎試験と実践研修が免除されます。このプログラムは、どのコースの学生でも履修可能ですが、言語コミュニケーションコースを選択した場合、最も円滑に履修できます。

Visit our
website
for details





沖縄県営平和祈念公園にて



唐人屋敷跡にて

International Public Policy Program

国際公共政策コース

国際社会で発生する様々な課題に
政治学・法学・経済学
などを通して取り組む

現代世界には、紛争や軍縮、人権侵害、貧困や開発、法の支配、保健・衛生など、国境を越えた複雑な政策課題があふれています。これらの難問の解決に挑む、グローバルな知識と実践的能力を備えた人材を育成します。

Student's Voice



異なる視点や考え方への
新たな興味関心が広がる

平部 桃子 3年

長崎県立長崎北陽台高等学校 出身

国際公共政策コースの講義で特に印象深いのは「軍縮論」です。私は長崎出身でこれまで被爆地の目線から平和学習を行ってきましたが、この講義では国際平和のための軍縮について学ぶことができました。留学生が参加していたので、グローバルな問題を英語でディスカッションできるのも刺激的でした。また政治思想について学ぶ講義では、パワーバランスをゲーム形式で分析。能動的に学びきっかけとなりました。国際的な問題に関心のある学生はもちろん、議論を深めたい、いろんな視点の考え方を知りたいという学生にも向いたコースだと思います。

大学では全く新しい分野について学びたいと考えて、開発経済学が専門の先生がいらっしゃる国際公共政策コースを選択。ゼミ活動では開発経済学に関する論文や書籍の輪読を行っています。2年次にはカナダのレスブリッジ大学に留学して、ニューメディアや心理学などを実践的に学びました。学生生活を通して興味や関心の幅がより一層広がったので、専門的な知識を増やしながら将来の進路の方向性をじっくり考えたいです。

Social Dynamics Program

社会動態コース

現代社会のダイナミズムを
社会学・文化人類学・歴史学などの
知見を深めて読み解く

グローバル化した世界では、ある場所で発生した小さな変化が遠く離れた場所で思いもよぬ影響を及ぼすことがあります。このようなダイナミズム（動態）を、主にフィールドワークを通して読み解く能力を身につけます。

Student's Voice



マイノリティに対する
自分なりの視点を養う

村上 萌々子 4年

福岡県立戸畑高等学校 出身

多文化社会学部は2年次からコース選択できるのが特徴で、私はジェンダーやマイノリティに関する学びを深めたいと考えて社会動態コースを選びました。「トランスナショナルリティ論」では様々な国籍の人たちが議論する番組を分析し、日本で生活していると接する機会の少ない視点を知る機会となりました。その他の講義でも、無国籍者や中国在留孤児など、いろんなテーマでマイノリティの問題や視点を考え直す機会が多く、自分の先入観が変わるきっかけになったと思います。またゼミのフィールドワークでは牧場でのホースセラピーについて調査。学外でしか体験できない貴重な経験をすることができました。

英語の会話力を身につけたくて2年次からカナダに1年間滞在。カレッジで学んだ後、インターンとしてコーヒーショップで半年間働きました。店舗にはいろんな国籍や宗教、セクシャリティの同僚がいて、大学で学んだ断片的な知識が実体験として一つの線に繋がったように感じました。卒業後はこれまで培った英語力や自分なりの視点を活かして働きたいです。



Human and Cultural Studies Program

共生文化コース

共生社会の基礎となる文化の理解を
思想史・宗教学・文化研究・歴史学
などによって深める

思想・宗教・表象・メディア・歴史などの幅広い見識を身につけることで、多様な文化的背景をもつ人々が同じ空間に共生する現代社会において、その基盤となる文化についての理解を深めます。

Student's Voice



限られた史料から推測し
江戸時代の古文書を読解

村谷 つじり 3年

長崎県立長崎北高等学校 出身

もともと日本史が好きだったこともあり、日本近世史が専門の先生が所属する共生文化コースを選択。日本だけではなくヨーロッパ、文化交流や考古学の視点から歴史学の基礎を学び、それぞれの視点の違いがとても興味深かったです。高校までの日本史の授業は物語のように大きな流れに沿ったものでしたが、大学では限られた史料からパズルのピースを組み合わせるように推測して全体像を捉えます。特に古文書を読み解くゼミ活動ではその傾向が顕著で、現在は江戸時代の手紙の読解に取り組んでいます。人物の関係性や意図を汲み取るのは難しいですが、辞書を片手に何度も調べるうちに知識が増えコツが掴めるようになってきました。

学外では、学芸員や大学教授などが集まる長崎学ネットワークの史料部会にも参加。いろんな史料に触れながら、他大学の先生や社会人の方とも繋がるきっかけが生まれています。卒業後の進路としては公務員を目指しています。行政の立場から愛着のある長崎の歴史に携わることができればと思います。



Language and Communication Program

言語コミュニケーションコース

言語の個別性と普遍性および
言語と文化の関わりを
言語学の諸分野を通して幅広く学ぶ

英語・日本語を中心とした言語学、言語教育、コミュニケーション論を通じて、多文化社会における言語の個別性と普遍性および言語と文化の関わりを実践的に学びます。

Student's Voice



留学中の経験から考える
言語とアイデンティティ

三尾 果穂 4年

岐阜県立中津高等学校 出身

言語学と異文化コミュニケーションの両方が学べる言語コミュニケーションコースは入学時から関心がありました。実際に「異文化間コミュニケーション」の講義では、海外からの留学生とグループを組んでディスカッションやプレゼンを行います。国・言語・文化といったバックグラウンドの違いがどのようにコミュニケーションに影響を及ぼすのか、まさに体験しながら学ぶことができました。またゼミ活動では英語の指導や教育方法について分析。高校までの英語授業における指導者目線の意図を知ることができて新鮮でした。

3年次からは1年間、イギリスのキール大学に留学。現地で知り合った友人たちは様々なルーツを持っていて、日本で生まれて日本人として日本語を当たり前と話していた自分のアイデンティティを一から考え直すきっかけとなりました。卒業論文ではこうしたアイデンティティと言語の関係性についてまとめたいと思います。言語だけではなく、言語と文化や社会との繋がりを学べるのも言語コミュニケーションコースの魅力だと感じています。



史跡「出島和蘭商館跡」にて

Leiden University

ライデン大学

オランダ特別コースの学生は、入学後多文化社会学部でオランダの言語、文化交流、歴史などを学びます。更に、3年次後期から1年間ライデン大学への長期留学が義務付けられ、専門性を深めていきます。

ライデン大学はオランダで最も古い大学であり(1575年設立)、デカルトやスピノザ、アインシュタインなど数多くの著名な学者が学びました(ノーベル賞受賞者16名)。世界で最初に日本学科が設立された大学でもあり、日本研究ではヨーロッパ屈指の歴史と研究実績を誇ります。現在でも人文社会科学の分野では世界的に高い評価を受けています(THE世界大学ランキング2024人文科学24位)。

また、ライデン大学の位置するライデン市はシーボルトのコレクションを展示した日本博物館が所在するなど、文化的刺激に満ちた街です。

Dutch Studies Program

オランダ特別コース

オランダ語文化圏の理解を通して
世界・ヨーロッパ・日本
などについて多面的に学ぶ

オランダ語文化圏について、人文社会科学の様々な角度から学ぶ日本に唯一のコースです。オランダを出発点にヨーロッパや世界の状況、日本との関わりについて学ぶことで、国際的な視野をもった人材を育成します。

Student's Voice



**ゼロから新しい言語を学び
現地で実践する面白さ**

田村 侑祈 3年

長野県松本県ヶ丘高等学校 出身

大学では英語以外の新しい言語を勉強するとともに、それを留学先で実践したい気持ちがあってオランダ特別コースを選択。ほとんど事前知識がない状態でしたが、自分の知らない世界に飛び込む面白さがあると考えました。オランダ語の講義は教科書をもとに基礎から勉強することができますが、会話力は日頃から意識して鍛える必要があると感じます。自主学习として、音楽や動画を通してオランダ語に耳を慣れさせたり、オランダからの留学生と積極的に会話したりする中で、会話を理解するスピードが徐々に向上していきました。

ライデン大学での講義に備えて、英語開講の講義も受けています。オランダの文化や社会について体系的に学ぶことで国自体への関心がより高まり、語学学習のモチベーションもアップしました。講義の成績は、ライデン大学留学時の奨学金申請にも関わってきます。高い目的意識を持って日々の勉強を積み重ねていくことが大切だと思います。今後はもっと語彙を増やして、現地で実践しながら習得していきたいです。

Message

伊東さん(右側)

**留学前の学びを活かし
現地の講義を深く理解**

伊東 瑠菜 4年

神戸龍谷高等学校 出身



オランダ語の講義に加えて課題・予習・復習の勉強が忙しい留学生活ですが、多文化社会学部で事前に学んだ内容が現地の講義で取り上げられることがあり、より深い部分まで学ぶことができました。自由に選択できる科目もありましたが、私はオランダ語をしっかりと理解した上でオランダ文化を学びたかったので、語学力の向上に繋がる科目を中心に選びました。高校でオランダ留学の経験があり、当時のホストファミリーを訪ねた際に「オランダ語が上手になったね」と褒められて成長を実感しました。今では日常会話に困らないレベルになりました。帰国後は何かしらオランダと関係のある企業を探ることができればと考えています。

オランダ特別コースはカリキュラムにライデン大学への留学が設定されているので、オランダはもちろんヨーロッパに興味がある人にもオススメです。滞在期間中に周辺の国を回ることができるので、視野を広げることができると思います。

小室さん(左から2番目)

**オランダ語に囲まれた
環境を自ら作り上げる**

小室 花恵 4年

岩手県立一関第一高等学校 出身



留学当初はオランダ語の語彙力が足りず、特にヒアリングが苦労しました。人それぞれの方言やアクセントの違いに慣れるため、自分から積極的に話しかけてオランダ語の会話を実践。留学生活を通して、誰とでも日常会話ができるレベルまで上達しました。帰国後もオランダ人の友人と連絡をとったり、オランダ語のニュースを見たりして、ほぼ毎日学習を続けています。またライデン大学から長崎大学に留学中の学生との交流を楽しみながら、会話力を鍛えています。

留学中から無理のない範囲でオンラインで就職活動に取り組み、希望していた小売会社から内定をいただくことができました。自転車の製造・販売・流通を行う会社で、ライデン大学までの通学で自転車に乗っていたので縁を感じます。オランダでは英語が広く普及しているので、自分で意識していないとオランダ語を使う場面が限られてしまいます。英語や日本語ではなくオランダ語に囲まれる環境を作り上げたことで、マルチリンガルだと胸を張れるほど語学力が身についたと思います。

多文化社会学部の学びのシステム

語学力を徹底的に強化し、人文社会系諸分野を「多文化社会」の観点から再編・統合した学際性に富むカリキュラム

学びの領域	<h2 style="text-align: center;">1年次</h2> <p style="text-align: center;">世界で生起している様々な問題を読み解くための、 多文化社会学の入門的知識を幅広く学びます。</p>	<h2 style="text-align: center;">2年次</h2> <p style="text-align: center;">各専門分野の基礎を領域横断的に学びつつ、 関心を絞り込んで卒業までの学びをデザインします。</p>
<p>多文化社会について学ぶ</p> <p>多文化社会を理解するための知識を、入門・基礎・専門の講義を通して段階的に学びます。</p>	<p style="text-align: center;">短期留学 短期留学</p> <p style="text-align: center;">入門講義</p> <p>多文化社会学の諸問題Ⅰ(社会) 多文化社会学の諸問題Ⅱ(人文) 国際公共政策入門(政治) 国際公共政策入門(法) 国際公共政策入門(経済) 社会学入門 人類学・民俗学入門 歴史学入門 文化研究入門 思想・宗教研究入門 言語コミュニケーション入門 オランダ・ヨーロッパ研究入門</p>	<p style="text-align: center;">基礎講義</p> <p>軍縮論 国際関係基礎(政治史) 国際関係基礎(政治思想) ジェンダーと人権 国際法 ミクロ経済学 社会理論基礎 家族社会学基礎 教育社会学基礎 歴史社会学基礎 倫理学基礎 文化人類学基礎(観光) 文化人類学基礎(民族誌) 文化人類学基礎(生態・社会) 文化人類学基礎(民俗学) 文化人類学基礎(移民) アフリカ地域研究基礎 歴史学基礎(日本) 歴史学基礎(ヨーロッパ) 歴史学基礎(文化交流) 歴史学基礎(考古学)</p> <p>思想史基礎(ヨーロッパ) 宗教学基礎 文化研究基礎(表象) 文化研究基礎(メディア) 言語学基礎A 言語学基礎B 英語の発想と表現A 英語の発想と表現B 日本語学基礎A 日本語学基礎B 応用言語学基礎A 応用言語学基礎B 日本語教育概論 現代中国社会論基礎 中国文化論基礎 オランダ・ヨーロッパ地域論 日蘭比較文化Ⅰ</p> <p style="text-align: right;">計量経済学 アジア経済論</p>
<p>キャリアについて学ぶ</p> <p>キャリアに関する理論的知識や実践的能力を身につけ、インターンシップや企業研究も併せて実施します。</p>	<p style="text-align: center;">キャリア科目</p> <p>グローバルキャリア入門</p>	<p>自主企画インターンシップ 企業研究</p>
<p>実践的な調査研究手法を学ぶ</p> <p>自ら設定した学術的問いに対して、研究計画に基づき調査・分析・発表・議論する方法を学びます。</p>	<p style="text-align: center;">演習科目</p> <p>初年次セミナー</p> <p style="text-align: center;">リサーチ科目、フィールドワーク</p> <p>リサーチ入門</p>	<p>基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ</p> <p>リサーチ基礎(インタビュー、参与観察) リサーチ基礎(表象) リサーチ基礎(サーベイ) リサーチ基礎(映像) リサーチ基礎(アーカイブ) 外国語文献講読</p>
<p>外国語コミュニケーションを学ぶ</p> <p>外国語のしくみ、発音法、リーディング、ライティング、ディスカッション、ディベートなどを学びます。</p>	<p style="text-align: center;">英語モジュール</p> <p>IELTS Reading and DiscussionⅠ,Ⅱ Reading and WritingⅠ,Ⅱ</p> <p>総合英語Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ 英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ</p> <p style="text-align: center;">オランダ語科目</p> <p>オランダ語Ⅰ オランダ語Ⅱ</p> <p>初習外国語Ⅰ 初習外国語Ⅱ</p>	<p>英語のしくみと意味Ⅰ 英語のしくみと意味Ⅱ Academic WritingⅠ Academic WritingⅡ Debate</p> <p>オランダ語Ⅲ オランダ語Ⅳ</p> <p>中国語総合表現Ⅰ 中国語総合表現Ⅱ 初習外国語Ⅲ 初習外国語Ⅳ</p>
<p>幅広い知識と技法を学ぶ</p> <p>様々な教養基礎科目・自由選択科目を通して、多文化社会を生きるための幅広い見識と技術を身につけます。</p>	<p>ミュージアム・講演ラリー 大使館連続講義 情報基礎 キャリア入門 データサイエンス概論 プラネタリーヘルス入門</p> <p>ジャーナリズム論Ⅰ,Ⅱ 寄附講座:アジア共同体講座 教養モジュールⅠ 健康科学 統計学概論 教養選択科目</p>	<p style="text-align: center;">教養モジュールⅡ</p>

3年次

専門分野の理解を深めると同時に関連分野へ視野を広め、卒業研究のための基礎を固めます。

4年次

入学からの学びの集大成として、自ら設定した卒業研究のテーマに取り組みます。

中長期留学

専門講義

国際機構論	異文化交流論
核軍縮不拡散政策論	文化資源論
EU法	地域生態論
国際政治学	倫理学
比較政治学	思想史
国際経営論	宗教文化論
開発経済学	文化表象論
国際人権論	映画論
グローバルヘルス	メディア・スタディーズ
多文化マーケティング論	地域史料論
国際社会学	アメリカ文学論
異文化理解教育	異文化間コミュニケーション
境界文化論	英語音声のしくみと働き
異文化と家族	英米文学概論
現代アフリカ社会論	応用言語学
現代アジア社会論	認知言語学
陶磁考古学	コーパス言語学
グローバル文化交流史	対照言語学(日英)
ヨーロッパ近現代史	対照言語学(日中)
	第二言語習得論
	日本語学

← 卒業研究 →

日蘭比較文化 II

ライデン 大学留学

← 特別研究 →

オランダの政治と外交 日蘭交流史
オランダ社会と教育 オランダ語の特質

キャリア形成論

専門演習 I

専門演習 II

フィールドワーク実習(海外/国内)

オランダ語 V

徹底して語学力を鍛える多彩なプログラム

高い語学力は学びの軸であるとともに 多文化社会で活躍するための大切なツール

多文化社会学部では、現代社会の様々な分野でグローバル人材として活躍するための不可欠なツールとして、語学力を重要視しています。とりわけ、英語力の徹底強化を目的に、系統的な英語力養成プログラムを実施しています。専門知識の習得と同時に、グローバルな多文化社会で活躍するためのスキルとして、「高度な語学力」、「学術的な英語力」の獲得を目指すことが、多文化社会学部のプログラムの大きな特徴です。

系統的な英語力養成プログラム

多文化社会学部では、英語力の徹底強化に向けて、段階的に目標値を設定した、英語力養成プログラムを実践しています。右ページで詳説するKEY Programを中心に、短期留学の実施、中長期留学の推奨(オランダ特別コースは必修)、基礎・専門講義科目の英語での開講等の取り組みを行っています。また、英語力の伸長状況を着実に測定できるように、TOEFL ITP(学部費用負担制度あり)及びIELTSを学内で定期的実施しています。



Student's Voice

自然と英語を使いたくなる環境ときめ細かな指導



吹田 遥香 2年

長崎北陽台高等学校 出身

小さい頃から英会話教室などで英語に親しんできたものの、最初はキープログラムでネイティブの先生方の会話を聞き取るのに苦労しました。ただ1年次は英語の講義が毎日のようにあり、学生同士でペアを組んでディスカッションする時間がたっぷり設けられています。回数を重ねる中で徐々に慣れていきました。また課題として英語のエッセイにも取り組み、長い文章を書く能力を一から身につけることができました。単語の使い方や文法など、先生が細かく添削してくださることが上達に繋がったと感じます。IELTSやTOEFLの英語試験対策も充実していて、入学時より点数を伸ばすことができ成長を明確に実感できました。

中学校の授業中は、英語を話すことが特別な雰囲気でした。多文化社会学部では講義中にみんなが当たり前のように英語を使っていて、私も刺激を受けて自然と喋りたくなりました。短期留学など英語に囲まれた環境で実践する機会が豊富なのは、多文化社会学部の大きな魅力だと思います。

英語力のトレーニング



KEY Program Academic English for Unlocking Futures 高度で学術的な英語力の養成

KEY Programは、「高度な英語力」「学術的な英語力」を養成するために開発された、体系的な英語語学プログラムです。従来型の技能別科目ではなく、英語発信力の向上をより重視した技能統合型科目で編成されています。このプログラムで提供される12科目を2年間集中的に受講することで、世界で通用する実践的な英語運用能力を習得し、グローバル社会へのドアを切り開くKEY(鍵)を手に入れることを目指します。具体的には、英語コミュニケーションへの関心・意欲を重視し、「英語を用いて○○ができる」ことを目指し、英語による批判的思考(Critical Thinking)や問題解決能力(Problem Solving)を向上させます。このことにより、特に、英語で開講される専門科目を受ける力、英語圏で中長期留学を行う力の養成を図ります。



IELTS/TOEFL iBT 対策サポート

英語四技能検定試験を見据えた個別指導

中長期留学を行うためには、英語四技能検定試験であるIELTS又はTOEFL iBTにおいて、規定のスコアを取得する必要があります。英語四技能検定試験において、個人での対策が難しいのは、スピーキングとライティングです。多文化社会学部では、IELTS/TOEFL iBT対策サポートを設けており、経験豊富な講師陣が担当するスピーキング・ライティングに関する個別指導を受けることができます。

多文化ラウンジ

フリースペースを活用して語学力アップ!

多文化社会学部の学生さんが自由に使えるスペースで学生同士、あるいは留学生や教員との交流スペースとして活用できます。学生同士でスピーキングの練習をしたり、留学生と英会話をしたりすることで、語学力向上のための実践的な活動を行うことができます。また、ラウンジでは、定期的に行われる多文化コミュニケーションコーナーに参加したり、IELTSやTOEFLを中心とした検定試験関係の書籍や多読用の書籍を借りることもできます。



世界への扉を開くさまざまな海外プログラム

異文化への理解を深めるために留学を推奨している長崎大学。そのなかでも多文化社会学部では、短期・中長期留学やフィールドワーク実習(海外)等、さまざまな形で海外で学ぶプログラムを設定しています。英語をはじめとする語学力の向上を目指すだけでなく、世界を舞台に多文化社会学の専門性を深めることを目的としています。

Visit our website for details



短期留学

多文化社会学部では、英語能力の向上と異文化交流への関心を高めることを目的に、夏季(9月)又は春季(3月)の4週間程度、ホームステイや現地学生との交流を経験しながら、海外大学との連携に基づくプログラムを提供します。

留学前には複数回のオリエンテーションを開催し、現地の事情を学び、安全についての意識を身につけます。過去に実施した短期留学では教職員が旅程の一部を引率して留学生生活をサポートしました。

過去の実績は次のとおりです。プログラムの内容および奨学金の給付額は変更する可能性があります。

◆留学先地域、大学及び時期について(過去の実績)

地域	時期
アメリカ	カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
	ジェームズタウンコミュニティカレッジ
	ナショナル大学
	ミシガン州立大学
カナダ	ウィニペグ大学
	カルガリー大学
	ニューファンドランドメモリアル大学
	マニトバ大学
フィリピン	レスブリッジ大学
	デラ・サール アラネタ大学
オーストラリア	エディスコーワン大学
	クイーンズランド工科大学
	サザンクロス大学
イギリス	キール大学
	ハイランド&アイランド大学パース校

◆プログラム参加費用(実績) 約50万円～

※代金は変動する可能性があります。

エコミークラス利用往復航空券、航空保険料・燃油費、日本・現地空港諸税、現地空港～大学の往復送迎費、宿泊費、授業料・研修費、食費(一部)

※その他、個人で負担・支払いをする費用(一部を例示します):超過手荷物料金、海外旅行保険、長崎又は福岡空港までの往復交通費、その他個人的生活諸費用

◆留学奨学金

8万円(アメリカ、カナダ、イギリス)

7万円(オーストラリア)

※学業成績や家計の所得を踏まえて給付します。支給金額・条件は変更となる場合があります。

フィールドワーク実習(海外)

※2023年度は新型コロナウイルスの影響で実施されませんでした。

フィールドワーク実習(海外)では、アジアやアフリカなどからフィールドを選定し、他者と出会い、相互作用する中で、グローバル時代の社会人として必要な実証と理論の力を高め、同時に多分野横断的な学びを実現することができます。平成28～29年度はタンザニアのザンジバルで、平成30年度は台湾でフィールドワークを実施しました。

Message

現地の暮らしに入り込んで、台湾の妖怪文化を聞き取り調査

山下 茉莉花 3期生 愛知県立昭和高等学校 出身

実習地:台湾

3年次の海外フィールドワーク実習では、台湾の高雄に約2週間滞在しました。もともとゼミで民俗学を学んでいたこともあり、台湾における妖怪について、現地で聞き取り調査を行いたいと思ったことが参加した理由です。日本では空想のキャラクターとして扱われることも多い妖怪ですが、台湾の大学生やその家族に聞いてみると、多くの人が身近に存在するものと捉えていました。また同じ妖怪でも、人によってイメージする姿が異なったのも印象的な点です。さらに台湾では宗教が生活の一部になっていて、大学生でもお寺の作法を当たり前のように説明してくれました。そうした宗教的な文化や歴史も、台湾での妖怪の捉え方に影響を与えていると考えられます。

見知らぬ海外で自分の五感を駆使するフィールドワークは、とても貴重な経験になりました。卒業後は大学院でさらに民俗学の研究を深める予定なので、この経験を活かした、発展的な聞き取り調査を行いたいと思います。

期間:約2週間、宿泊先:ホテル、ホームステイ、奨学金:JASSO(6万円)、支出:約10万円



台湾の博物館で妖怪に関する展示があり、リクエストして訪問。現地での行程は学生の調査内容によって異なりましたが、減多にない機会なので、お寺や博物館などいろんな場所に足を運びました。

Message

マンツーマン授業で会話が向上

松尾 咲希 2年 長崎県立諫早高等学校 出身

留学先：フィリピン／デラ・サール アラネタ大学

フィリピンの大学では1日8コマみっちり英語の授業があり、グループレッスンが半分、残り半分はマンツーマンのレッスンでした。もともとスピーキングが苦手でしたが、フレンドリーで気さくなフィリピン人講師の方々のおかげで自然と会話が弾みました。短期留学を通して、以前よりも英語を話すことのハードルはかなり下がったと思います。また現地の大学では個人の英語レベルに合わせた授業や課題の内容が工夫されているので、スムーズに学ぶことができました。留学期間中は寮で生活。イベントを通してフィリピン人の友だちとの交流が深まり、歴史や戦争など大きなテーマについて意見を交わすことができました。

土曜日にボランティアプログラムが設定されているのもこの留学先を選んだ理由で、現地のスラム街を訪問して食事を提供。子どもたちと一緒にご飯を食べたり遊んだりする中で、リアルな生活や声を知ることができました。今後も国際政治・開発経済学の専門的な知識を増やして、将来は貧困地域の子どもの厳しい生活を少しでも改善することで社会に貢献したいです。

Weekly schedule

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
9:00~12:50 英語 Writing (個人レッスン) 英語 Effective Listening (グループレッスン) 英語 Multimedia English (グループレッスン) 英語 Writing 2 (個人レッスン)	9:00~12:50 英語 Writing (個人レッスン) 英語 Effective Listening (グループレッスン) 英語 Multimedia English (グループレッスン) 英語 Writing 2 (個人レッスン)	9:00~12:50 英語 Writing (個人レッスン) 英語 Effective Listening (グループレッスン) 英語 Multimedia English (グループレッスン) 英語 Writing 2 (個人レッスン)	9:00~12:50 英語 Writing (個人レッスン) 英語 Effective Listening (グループレッスン) 英語 Multimedia English (グループレッスン) 英語 Writing 2 (個人レッスン)	9:00~12:50 英語 Writing (個人レッスン) 英語 Effective Listening (グループレッスン) 英語 Multimedia English (グループレッスン) 英語 Writing 2 (個人レッスン)		
Lunch 14:00~17:50 英語 Small Group Class B (グループレッスン) 英語 Speaking 2 (個人レッスン) 英語 Small Group Class A (グループレッスン) 英語 Speaking 1 (個人レッスン)	Lunch 14:00~17:50 英語 Small Group Class B (グループレッスン) 英語 Speaking 2 (個人レッスン) 英語 Small Group Class A (グループレッスン) 英語 Speaking 1 (個人レッスン)	Lunch 14:00~17:50 英語 Small Group Class B (グループレッスン) 英語 Speaking 2 (個人レッスン) 英語 Small Group Class A (グループレッスン) 英語 Speaking 1 (個人レッスン)	Lunch 14:00~17:50 英語 Small Group Class B (グループレッスン) 英語 Speaking 2 (個人レッスン) 英語 Small Group Class A (グループレッスン) 英語 Speaking 1 (個人レッスン)	Lunch 14:00~17:50 英語 Small Group Class B (グループレッスン) 英語 Speaking 2 (個人レッスン) 英語 Small Group Class A (グループレッスン) 英語 Speaking 1 (個人レッスン)	ボランティア活動・ マニラ市内観光	Free

期間：1ヶ月間 宿泊先：学生寮 奨学金：JASSO (14万円) 支出：約53万円



スラム街の子どもたちにランチボックスを提供。夢を語る子どもたちの素直な言葉が、今も心に残っています。



海外インターンシップ

多文化社会学部では、国内インターンシップの支援のほか、学部独自の英語圏・非英語圏双方の海外インターンシッププログラムを提供しています。英語と現地語を実際に使用しながらの海外現地生活を体験し、多様な文化と人々との出会いにより、グローバル社会を生き抜くための経験的知識の獲得を目指します。令和5年度は、フィリピン、カンボジアでインターンを実施しました。

Message

現地の対面授業をオンライン授業にも繋げる

堀江 亮太 3年 福岡県立城南高等学校 出身

インターンシップ先：カンボジア／カンボジア・ジャパン・インターナショナル・カレッジグループ

日本語教師の資格を得るためのコースを選択中で、実際に海外で教壇に立つ経験をしたと考えて参加。インターンシップ先の日本語学校は、以前からボランティアとして毎週オンライン授業を行なっていて、今回は直接学生たちと会えることもあって楽しみでした。現地で日本語を教えた感想として、一人ひとりの語学レベルも年齢層も異なるクラスでの授業は難しく、言葉の意味をイラストで解説するなど伝え方を工夫しました。また学生たちは将来技能実習生となり、家族を支えるために勉強していて、改めて日本語を教えることの責任を強く感じました。

現地の学生とは距離感が近く、寮と一緒に食事をしたり、授業後は野球をしたり、週末に街を案内してもらうこともあり本当にあたたかく接してくれました。帰国後もオンライン授業は継続していて、新たに現地の学生と多文化社会学部のボランティアを繋ぐビデオ通話にも取り組み始めました。日本語のカジュアルな会話に慣れる機会になればと思いますし、今後は現地の学びをオンラインでの指導にも活かしたいです。

期間：14日間 宿泊先：CJIC (派遣先の語学学校) 奨学金：なし 支出：約10万円



現地で実際に日本語授業を担当。解説も全て日本語で行うため、改めて自分が普段喋っている言語の難しさを感じました。

中長期留学

中長期留学は、語学力の向上にとどまらず、学部で学んだ専門知識を土台として、留学先においてさらに専門性を深めることを目的としています。大学間の学術交流協定に基づく交換留学として実施されるため、学生は長崎大学に学費を納入し、長崎大学に在学したまま半年から1年間留学することになります。

- ・留学するためには、定められた時期までに語学力及び学業成績に関する一定の学部内要件を満たすとともに、学内選考に合格することが必要です。
- ・「オランダ特別コース」の学生は、1年間のオランダ留学が必須となります。その他のコースの学生にも中長期留学を強く推奨します。
- ・留学先で修得した単位は、授業内容・レベル・形態の観点から精査し、長崎大学で開講している科目の単位として認定します。そのため、中長期留学に参加した場合でも4年間で卒業することも可能です。

留学奨学金

長崎大学では、中長期留学に係る費用の一部を支援することを目的として、海外留学奨学金制度を整備しています(受給できる人数には限りがあります。また、予算の都合により今後変更される場合があります)。また、様々な外部団体の奨学金制度を活用できるように支援しています。

なお、奨学金を受給するには、学業成績や家計基準など一定の基準を満たす必要があります。

※受給できる人数には限りがあります。また、予算の都合により今後変更される場合があります。

◎日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)(給付型)

最大12ヶ月間、月額6~10万円(留学地域により異なる)

◎長崎大学海外留学奨学金(給付型)

最大3ヶ月間、月額6~10万円(留学地域により異なる)

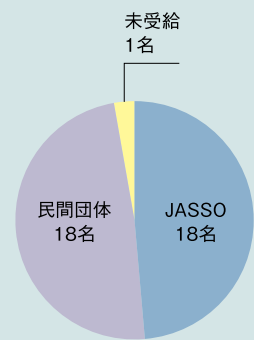
◎トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム(給付型)

単位取得を目的とした留学だけでなく、インターンシップやフィールドワークなど、自分で組み立てた留学計画を支援。奨学金(最大12ヶ月間、月額12~16万円(留学地域により異なる))、留学準備金、授業料などの支援あり。

◎業務スーパージャパンドリーム財団奨学金(給付型)

最大12ヶ月間、月額15~20万円(留学地域により異なる)

2023年度
派遣学生(37名)の受給実績



【ノルウェー】
ノルウェー科学技術大学

【イギリス】
○アバディーン大学
○オックスフォード・ブルックス大学
○キール大学
○マンチェスター・メトロポリタン大学

【ドイツ】
○ゲオルク・ジモン・オーム大学ニルンベルク
(ニルンベルク工科大学)
○ハインリヒ・ハイネ大学
(デュッセルドルフ大学)

【オランダ】
○ライデン大学
○ラドバウト大学

【ベルギー】
○モンス大学
○ルーヴェン・カトリック大学

【フランス】
○アンジェ大学
○パリ東=クレティユ大学
○ブルゴーニュ大学

【スペイン】
○マラガ大学
セビリア大学

【イタリア】
○カ・フォスカリ大学

【ポルトガル】
○新リスボン大学

【イラク共和国】
スレイマニ工科大学

【インドネシア】
インドネシア大学

【タイ】
○カセサート大学
チェンマイ大学
○チュラロンコン大学
○タマサート大学

【フィリピン】
○アテネオ・デ・マニラ大学
○フィリピン大学ディリマン校
○フィリピン大学ピサヤ校

【マレーシア】
○テイラーズ大学
マレーシア大学サバ校

【ブルネイ】
○ブルネイ・ダルサラーム大学

【タンザニア連合共和国】
ザンジバル州立大学

【中国】
○華東師範大学
○陝西師範大学
吉林大学
○山東大学
西北大学
○香港教育大学
○北京外国語大学
○上海師範大学
○上海外国語大学
天津師範大学
中国社会科学院大学
大連外国語大学

【台湾】
亞洲大学
国立政治大学
○国立台湾大学
国立台湾師範大学
国立高雄大学
成功大学
中国文化大学

【韓国】
亞洲大学校
○東国大学校
○成均館大学校
○慶北大学校



海外協定先(令和6年4月1日)

長崎大学には世界各地に海外協定先があります。夢や目標を持って世界へと飛び出していく学生を支援するため、今後も、さらに海外協定先のネットワークを広げていきます。

※○はこれまで派遣実績がある協定校(令和6年4月1日)

【オーストラリア】
○ウェスタンシドニー大学
○エディスコーワン大学
○サンシャインコースト大学
○ディーキン大学
○サザンクロス大学

留学サポート体制

多文化社会学部では留学相談室を設置し、留学に関する必要な情報を提供しています。留学先の決定や渡航手続き、履修科目の選択等、留学に関する疑問や不安は、海外経験が豊富な留学コーディネーターに相談することができます。

学生が海外留学に出発する前には、危機管理等に関するオリエンテーションを実施しています。留学中は、指導教員等が随時電子メール等で学生の修学・生活相談に応じるほか、留学先大学の担当者とも密に連絡を取り合い、学生の状況を把握するとともに、学部内での情報共有とトラブルへの対応に当たっています。

また、長崎大学は留学生危機管理サービス(OSSMA)への加入も推奨しています。



オリエンテーションの様子

- 【カナダ】
- ウィニペグ大学
- カルガリー大学
- ニューファンドランドメモリアル大学
- レスブリッジ大学

- 【アメリカ】
- アーカンソー工科大学
- カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
- ノースイースタン・イリノイ大学
- ノーザン州立大学
- ベネディクティン大学 (イリノイ州)
- ペンシルベニア州立大学インディアナ大学
- モラヴィアン大学
- フロストバーグ州立大学

- 【メキシコ】
- メキシコ西部工科大学

Visit our website for details



自分らしい英語の発音に自信を持つ

矢筒 紗也子 4年 佐賀県 出身

留学先：アメリカ／北アリゾナ大学



英語ネイティブの人とそうでない人の言語比較やコミュニケーションに興味があり、関連する講義が選択できる北アリゾナ大学に留学。英語で行われる講義や会話についていくのに苦労しましたが、グループワークやディスカッションの機会が多く少しずつ慣れていきました。また最初は自分が話す英語の日本人らしいアクセントに抵抗感がありましたが、留学生のルームメイトなどいろんなバックグラウンドを持つ人たちが話す英語に触れる中で、自分らしい英語の発音に自信を持って話せるようになりました。現地の日本語クラスのアシスタントを務めたことでも交友関係が広がりました。

留学中に就職活動にも取り組み、海外勤務のチャンスがある会社から内定をいただくことができました。面接はオンラインで、現地で開催された対面式のキャリアフォーラムにも参加。留学前から自己分析やエントリーシートの準備を進めていたので、うまく両立することができました。長期留学した上で4年間で卒業することは十分可能だと思います。

履修科目：8科目 住居：学生寮 奨学金：業務スーパージャパンドリーム財団奨学金(20万円/月) 支出：約15万円/月

現地の社会を多様な視点から学ぶ

浦田 愛梨 4年 福岡県 出身

留学先：フィリピン／アテネオ・デ・マニラ大学



私の両親が農業をしている関係で、フィリピン人の技能実習生と幼少期から暮らしてきました。そうした経験からフィリピン社会に興味を持ち、現地の大学へ1年間留学しました。社会動態コースで専攻している社会学を中心に、フィリピンの言語や文化、歴史など、幅広い分野の講義を選択。実際にOFW(海外で働くフィリピン人労働者)がテーマとして取り上げられることがあり、いろいろな学生の意見を聞くことができました。

一緒に寮生活を送るルームメイトは南部のミンダナオ島出身で、地域による言語や文化の違いから、フィリピン社会の多様性を感じることができました。また留学期間中にフィールドワークとして、日本で親しくしていた技能実習生の家族を訪問。セブ島のスラムで物資を支援するボランティア活動を運営するなど、大学で学ぶマクロな視点だけでなく、直接足を運んで見聞きするミクロな視点からも学ぶことができました。海外に興味のある人は、半歩でもいいから興味のある方向に進んでみると、きっと自分の世界が広がっていくと思います。

履修科目：7科目 住居：学生寮 奨学金：なし 支出：約7万円/月

イギリスの社会と文化を肌で感じる

野口 日菜子 4年 佐賀県 出身

留学先：イギリス／キール大学



キール大学での講義は多文化社会学部とは全く異なり、与えられた課題に取り組むのではなく、学生自身がそれぞれ予習して意見や考えをまとめた上で講義に参加する必要があります。勉強するほど成長できる環境ですが、どこまで準備すればいいのかわからず気持ちが追い込まれることもありました。友人や先生に相談しながら重要なポイントを押さえる学び方に工夫することで、うまく対応できました。講義は社会学を中心に幅広く選択。特に社会不平等をテーマとした座学やディスカッションが印象的で、イギリスで生活していると貧富の差を実感する場面も多く、より自分ごととして理解を深めることができました。

広いキャンパス内には様々な施設があり、放課後はパブに立ち寄ることもありました。もともとイギリスの歴史や文化に関心が強く、留学期間中は様々な街へ旅行。地域ごとの個性を肌で感じることができました。1年間を通して、海外に対する漠然とした憧れはなくなったので、今後の進路はじっくり時間をかけて見極めたいと思います。

履修科目：7科目 住居：学生寮 奨学金：業務スーパージャパンドリーム財団奨学金(20万円/月) 支出：約20万円/月

Weekly schedule

2023秋学期	月	火	水	木	金
9:00-10:00					
10:00-11:00					
11:00-12:00	Social Inequality (Lecture)				
12:00-13:00				Franki Sockley (Tutorial)	
13:00-14:00				Social Inequality (Tutorial)	British Cultural studies
14:00-15:00					
15:00-16:00		Franki Sockley (Lecture)			
16:00-17:00		English class			
17:00-18:00					
18:00-19:00	Japanese Society				
19:00-20:00					

2024春学期	月	火	水	木	金
9:00-10:00	Anthropology (Lecture)	Media (Lecture)			
10:00-11:00		Media (Tutorial)			
11:00-12:00			多国籍観光と観光研究	Marketing (Lecture)	
12:00-13:00					
13:00-14:00				Marketing (Tutorial)	
14:00-15:00				Anthropology (Tutorial)	
15:00-16:00					
16:00-17:00					
17:00-18:00		English class			
18:00-19:00	Japanese Society				
19:00-20:00					

キャリア教育 Career education

国内マーケットの縮小に伴い、企業の多くは海外進出に力を入れています。なかでも国民の平均年齢が若く、経済発展が見込まれる東南アジアやアフリカは注目されています。グローバル時代のキャリア形成について、社会や企業の最前線の動きをにらみ、1年次からじっくりと考えていきます。

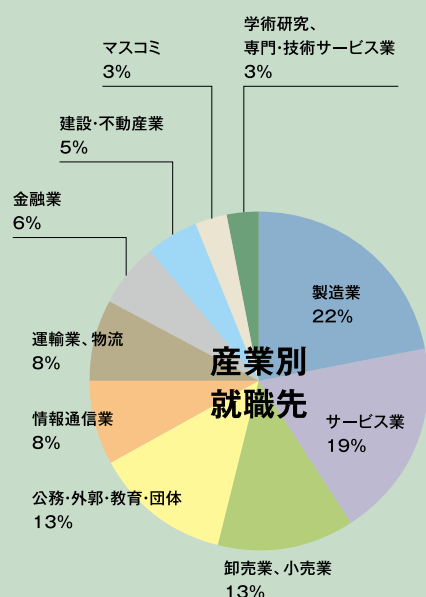
1年次	グローバル キャリア入門	日本企業と外資系企業における「働き方」の違いについて、人的資源管理の面から理解します。また、大学4年間の過ごし方についてもデザインしていきます。
------------	-------------------------	--

3年次	キャリア形成論	卒業後のキャリアを考え、実践的な準備をします。企業や自己の分析、学部での学びをもとに、社会でどのように活躍していくのかを考えます。授業のなかでは、企業で働いているかたなどをお招きして、お話を聞くこともあります。
------------	----------------	---

自主企画 インターンシップ

学生が自分で企画したインターンシップの活動を、事前学習、事後学習も含めて、単位として認めるものです。短期、中長期の留学や海外フィールドワークとともに、海外インターンシップも推奨しています。ミャンマー、ラオス、カンボジア、フィリピン(セブ)、ハワイなどの日本語学校、戦争博物館、空港、ホテルで就業経験を積みながら、異文化コミュニケーションを実践します。

卒業生の就職実績



〈2023年度卒業生〉
就職希望者の就職率

94.1%

■ 主な就職先

【製造業】

いすゞ自動車、九州電力、小森コーポレーション、NEC、サンスター、高砂香料工業、古河電気工業、住友電装、ゼンリン、大日本印刷、トヨタ自動車九州、東芝、東京計器、日本軽金属、平田機工、フジクラ、TOTO、日立金属、日本ロレアル、キャノン、スズキ、ニプロ、淀川鉄工所

【卸売業、小売業】

双日、双日九州、日鉄住金物産、日鉄物産、日通商事、三菱電機住環境システムズ、古河産業、JR九州リテール、東京書籍販売

【サービス業】

ANA、JAL、スターフライヤー、ソラシドエア、ANA福岡空港、長崎空港ビルディング、星野リゾート、HIS、西鉄旅行、博多座、JAL(自社養成パイロット)、福岡国際空港

【公務・外郭・教育】

国税専門官、日本年金機構、日本貿易振興機構(JETRO)、労働基準監督署、中小企業基盤整備機構、水資源機構、日本学生支援機構、沖縄振興開発金融公庫、広島日本領事館、熊本県庁、大分県庁、長崎市役所、沖縄市役所、長崎大学、長崎商工会議所、学校教員(英語)、長崎税関

【情報通信業】

ヤフー、楽天、NTTビジネスソリューションズ、NTTデータシステムズ、両備システムズ、USEN、東京コンサルティングファーム、SCSK、Qinet、九州NSソリューションズ

【運輸業、物流】

三菱倉庫、山九、商船三井ロジスティクス、西日本鉄道(国際物流事業)

【金融業】

AIG、三井住友海上火災保険株式会社、りそな銀行、福岡銀行、福岡中央銀行、十八銀行、親和銀行、肥後銀行、鹿児島銀行、琉球銀行、九州労働金庫

【建設・不動産業】

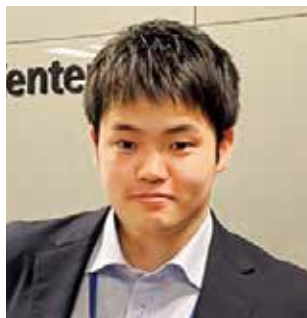
三菱電機プラントエンジニアリング、長崎空港ビルディング、オープンハウス

【マスコミ】

NHK、フジテレビ、日本テレビ、NBC長崎放送、鹿児島テレビ放送、毎日新聞社、岐阜放送、西日本新聞、長崎新聞、神戸新聞、琉球新報、熊本日日新聞社

■ その他進学先

中央民族大学民族学与社会学学院(中国)、東京大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、一橋大学大学院、九州大学大学院、広島大学大学院、関西学院大学大学院、長崎大学大学院、青山学院大学大学院、順天堂大学大学院、広島市立大学大学院



黒木 亮佐 3期生

JETRO (日本貿易振興機構) 就職
グローバル社会コース

出会いと経験が広がってくれた可能性

多文化社会学部での5年間は人との出会い・成長する機会に恵まれた期間でした。大学入学時には欧米圏への留学を目標としていましたが、1年次の寮生活で、ルームメイトの台湾人の留学生と親しくなり、国立台湾大学へ1年間の交換留学を経験しました。

多文化社会学部には中・長期留学はもちろん、短期留学、外国語スピーチコンテストなど、自ら手を挙げれば多くのことを経験できる環境があります。こうした経験や、学習意欲に溢れた友人に囲まれたキャンパスライフを送る中で、自分は将来何をしたいのかということが明確化できたように思います。

現在、私は、独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) にて、日系企業の海外進出を支援する事業に携わっています。留学中に培った語学力を生かし、中国に駐在しながら、中国の政治・経済状況の調査をすることが現在の目標です。

大学生は、さまざまな勉強や経験を通じて自分自身の人生における選択肢を探し、同時に自身の将来の選択肢を広げる貴重な時間です。自分自身の可能性を探り、そして可能性を広げるための4年間で、素晴らしい仲間と機会に恵まれた多文化社会学部で過ごせたことは、私にとって生涯の宝です。



田中 怜 4期生

日本テレビ 就職
グローバル社会コース
(現国際公共政策コース)

コロナ禍の自粛期間が将来を見つめ直す機会に

総合職採用で日本テレビに入社して、現在は新入社員研修としてさまざまな部署の仕事を体験しています。テレビ局といえば番組制作のイメージが強いですが、実際はSNSを使った広報に特化した部署や、ICTや情報データを活用する部署など、とにかく幅広い内容の仕事に分かれています。私はバラエティ番組の制作に携わりたくて入社したので、まずはアシスタントディレクターとして経験を積み重ねていきたいと考えています。

もともと留学に興味があつて多文化社会学部に入学し、1年次の短期留学ではオーストラリアに、3年次の長期留学ではドイツに滞りました。しかし新型コロナウイルスの影響で長期留学は半年で帰国することになり、自宅で過ごす時間が長くなりました。その期間にこれまで何気なく見ていたテレビのバラエティ番組の楽しさに改めて気づき、思い切って日本テレビのインターンシップに参加。家族をテーマにした動画制作の課題が、自分が将来どんな仕事をしたいのか見つめ直すきっかけとなりました。多文化社会学部は個性的な学生が多く、一緒に学ぶ中で視野が広がりました。前向きなチャレンジを応援する雰囲気があり、新しい可能性と出会う機会に恵まれた学部だと思います。



山本 春 3期生

長崎県公立高校 就職
共生文化コース
※現在は言語コミュニケーションコース
のみ、高等学校教諭一種免許状 (英語)
が取得可能

英語で積極的に話したくなる雰囲気の授業を

在学中に英語の教員免許を取得して、長崎県内の高校で勤務しています。学生の希望する進路によって英語に対する意欲は様々ですが、授業の進め方や教え方を工夫して、英語の面白さを伝えられるよう試行錯誤しています。また人前で発表することが恥ずかしい学生も多いので、普段からチャレンジする姿勢を積極的に評価して、失敗しても大丈夫だと安心できる授業の雰囲気を大切にしています。

教育学部という選択肢もありましたが、充実した留学制度や様々な文化を学べる講義に興味があり、多文化社会学部を選びました。実際にカナダとオーストラリアへの留学を通して、国や地域ごとの発音の違いや、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることの大切さを感じました。また学外活動として、日本に滞在する外国人の方に英語で日本語を教えるボランティア活動にも参加しました。年代も国もバラバラの相手に教える中で、言葉を通してお互いの距離が縮まったり、文化を深く理解する様子を目の当たりにして、教員という仕事に対する気持ちが強くなりました。今後は授業の中で、気持ちを英語で伝えたり、英語を通して学生自身の考えを見つめ直す機会を増やしていきたいです。

Visit our website
for details



多様な知識と経験を持つ教員との出会いも 多文化社会学部の大きな魅力

多文化社会学部には、海外の様々な文化に通じる日本人の教員と外国籍もしくは外国出身の教員が在籍しています。様々な現場で実務経験のある教員も多く情報に奥行きがあり、実践的な知識が詰まった講義が展開されます。これから多文化社会へと羽ばたいていく皆さんにとって多様なバックボーンを持つ教員たちとの出会いはかけがえのない学びの機会となることでしょう。

※[]内は教員の主な開講科目名です。 ※科目名は変更となる可能性があります。 ※教員情報は、令和6年5月1日現在のものです。



教授
木村 直樹
KIMURA, Naoki
【地域史料論】

日本近世政治・外交史(対外関係史)について、長崎を起点に研究。島原の乱や、九州発近世屈指の大飢饉である寛永飢饉についても研究。



教授
才津 祐美子
SAITSU, Yumiko
【文化資源論】

専門は民俗学、文化人類学。近現代の日本における地域文化の表象・継承・活用のあり方について、文化遺産保全を中心に研究。



教授
賽漢卓娜
SAIHANJUNA
【異文化と家族】

専門は家族社会学、移民研究、ジェンダー研究。アジアにおける国際と国内の移動現象について質的研究。移動者を主体的に捉え、その目線を重視。



教授
西田 充
NISHIDA, Michiru
【軍縮論】

専門は、国際安全保障、軍備管理・軍縮・不拡散。外務省での核問題における長年の実務経験を活かし、特に北東アジアの安全保障を向上させるための軍備管理や軍縮不拡散といったツールを用いた具体的な方策を研究。



教授
西原 俊明
NISHIHARA, Toshiaki
【コーパス言語学】

専門は、言語学、英語学、応用言語学。英語を中心に、言語に見られる普遍性・個性についてコーパス等を用いて研究。



教授
野上 建紀
NOGAMI, Takenori
【陶磁考古学】

専門は考古学。陶磁器を生産した窯、運んでいた船、消費していた都市の遺跡を調べて、「陶磁の道」とも呼ばれる「海のシルクロード」を研究。



教授
葉柳 和則
HAYANAGI, Kazunori
【文化表象論】

専門は文化社会学。主テーマとして多言語国家スイスのナショナル・アイデンティティ、副テーマとして近現代長崎の都市イメージを取り上げ、表象の政治という視点から研究。



教授
森川 裕二
MORIKAWA, Yui
【国際政治学】

国際政治の仕組みが、一体化する世界の中でどのように変化しているのか、国際政治の理論的な基礎を歴史的な背景や現実の社会の動きに照らして研究。



教授
廣江 顕
HIROE, Akira
【生成統語論】

専門は、生成文法の理論的研究。統語形式と意味のミスマッチを主な研究対象としている。また、英語教育法のあり方を、教育現場における現実を踏まえながら研究。



教授
楊 晓安
YANG, Xiaoyan
【対照言語学(日中)】

専門は応用言語学、実験音声学。実験音声学の手法を用いて、音声分析ソフトによる音声分析を通して、中日両言語の音声構造と文法・語義の関係について研究。



教授
王 維
WANG, Wei
【異文化交流論】

長崎をはじめ、世界各地におけるチャイナタウン及び華人系社会・文化及び上位社会との交流史、音楽受容史、異文化観光について研究。



准教授
姉川 雄大
ANEGAWA, Yudai
【ヨーロッパ近現代史】

歴史学。主なテーマは近現代東欧(ハンガリー)社会からみた「市民社会」やナショナリズムの問題。特に、「あるべき国民」「あるべき家族」像などの規範によって人々が価値づけ・序列化される政治を社会的に研究。



准教授
カトローニ ピノ
CUTRONE, Pino
【異文化間コミュニケーション】

専門は、異文化用語論、応用言語学/TESOL、社会言語学、談話分析。日本におけるEFL(外国語としての英語)の教授法を研究。



准教授
河村 有教
KAWAMURA, Arinori
【国際人権論】

専門はアジア・アフリカ法、刑事法。人権侵害、ジェンダー問題、核兵器廃絶・禁止含む平和の構築維持について探究。刑事手続、ハラスメント・いじめ調査、懲戒処分手続、CDR等手続きについてのルールのあり方も研究。



准教授
ギュルベヤズ アブドゥルラッハマン
GUELBEYAZ, Abdurrahman
【メディア・スタディーズ】

専門は、言語学、社会学、記号論、言語社会学、音楽学。言語や同種の記号制度と、社会性、すなわち人間性との相互関係の諸相を研究。



准教授
小松 悟
KOMATSU, Satoru
【開発経済学】

専門は開発経済学、環境経済学。アジアの途上国を対象として、国の経済開発と環境改善を両立させながら、持続可能な発展のためにはどのような政策が望ましいかを分析。



准教授
コンペル ラドミール
COMPEL, Radomir
【比較政治学】

専門は政治学。各国の政治について、体制、組織、政策、住民との関係および歴史的な背景を踏まえ、共通点及び相違点を研究。



准教授
佐藤 美穂
SATO, Miho
【グローバルヘルス】

専門は保健システム研究。質的手法を用いて主にアフリカにおいて人々の健康希求行動や保健医療従事者の動機付けを研究する一方、保健プロジェクトに短期専門家として参画。



准教授
佐藤 靖明
SATO, Yasuaki
【地域生態論】

専門は生態人類学、民族植物学、アフリカ地域研究。暮らしと文化の視点から、バナナをはじめとする植物と人間の間接関係を研究。また、アフリカにおけるてんかんの一種「うなぎ症候群」の患者と家族をめぐるケアの方法を研究。



准教授
白井 章詞
SHIRAI, Shoji
【キャリア形成論】

大学におけるキャリア教育について、教育効果と問題点を調査・研究。若者の職業能力の開発に資する教育プログラムの開発と実践にも取り組む。



准教授
西川 美香子
NISHIKAWA, Mikako
【応用言語学(英語)】

英語教育・応用言語(言語テスト)を専門とし、英語学習者の特性やニーズにあった指導法を比較、検証するツールとして、言語テストを用いた研究をおこなっている。



准教授
原田 走一郎
HARADA, Souchirou
【日本語学】

日本語・琉球諸語の方言を研究。主に九州、沖縄県八重山のことばを対象に、それらが世界の言語のなかでどのような特徴を持つかを考察。



准教授
細田 尚美
HOSODA, Naomi
【文化人類学(移民)】

専門は、文化人類学、東南アジア地域研究、移民研究。主にアジアや中東に出稼ぎ中のフィリピン人についての現地調査を通じて、世界情勢や各国の移民政策と、彼らのコミュニティやアイデンティティの変遷との関連を研究。



准教授
南 誠
MINAMI, Makoto
【トランスナショナルリティ論】

専門は歴史社会学、国際社会学。中国帰国者の調査や、満洲の歴史と記憶の国際比較を手がかりに、近代東アジアにおける境界文化の生成と溶解について研究。



准教授
森 元斎
MORI, Motonao
【思想史】

専門は、哲学・思想史・文化研究。現代哲学の著作・論文を読解するとともに、そこに潜む人間・社会・自然の問題を分析・研究。



助教
イナキナイ アレーナ ディアン アイリン
YNACAY-NYE, Alayna Deanne Irene
【国際政治経済】

専門は政治経済。主なテーマは、地方のコミュニティへの農村(漁民)の生計、伝統的知識構造、海洋資源への影響を批判的に分析し、民営化と企業意思決定役割について研究。



助教
作元 裕也
SAKUMOTO, Yuya
【理論言語学】

生成文法理論に基づき言語学を研究。英語、日本語、中国語等の言語における差異や類似点に着目し、それらに対する理論的な説明を探索。特に、人間の言語計算に関係すると考えられているPhase (e.g. Chomsky (2000))に関連する研究を行っている。



助教
田村 康貴
TAMURA, Koki
【倫理学】

専門は倫理学。19世紀以降のフランスにおける倫理思想や道徳教育を中心に、人間の生やその価値をめぐるさまざまな問題について研究。



助教
寺田 晋
TERADA, Kuniyuki
【国際社会学】

多文化主義とシティズンシップをテーマに、多様な人々が生活する社会における平等の問題について考えています。具体的には、移民政策の国際比較、多文化主義の規範理論、日本の移民政策の歴史等を研究。



助教
トートルディ
TOET, Rudy
【Introduction to Japanese Linguistics】

専門は言語学・日本語学。現在、近世の長崎出島に滞在した外国人たちが残した日本語研究資料を歴史、日本語学史、言語学の各観点から研究。



助教
福田 紗耶香
FUKUDA, Sayaka
【異文化理解教育】

専門は、比較教育学、教育学。オランダをフィールドとして、移民の子どもをはじめとする社会的に不利な立場におかれた人々の教育格差を是正するための就学前教育の取り組みおよび制度を研究。



助教
山下 龍
YAMASHITA, Noboru
【日蘭比較文化】



①日本人を対象としたオランダ語教育、②日本人を対象とした英語教育、③日欧比較文化の研究(現在は主に日本茶道文化史の研究)、④日蘭交流史(現在は主に出兵と医学の研究)



助教
李 頌雅
LEE Song Ya
【会話分析・語用論・日本語教育】

専門は指導と学習の相互行為に関するマルチモーダル会話分析。日本人学生と外国人留学生の授業外学習活動における相互理解の達成を研究。近年は身体的技術の指導と学習の相互行為に関する研究を行っている。

Visit our website for details





互いを知り

絆を深める寮生活

国際学寮ホルテンシア

希望者は、入学して1年間は寮に入り、1ユニット4人(外国人留学生1人~2人を含む。)のルームシェア形式で共同生活を送ります。様々な文化的背景を持つ者同士が、日常をともにすることで深い絆も生まれます。今年度の入寮者2人に寮生活を振り返ってもらいました。



熊本市立熊本北高等学校 出身
日名子 大耀 (1年)

高校生の頃に留学生と交流する機会があり、もっと海外の人と英語で話したい気持ちがあったので寮生活は楽しみでした。同じユニットにはイタリアとオランダからの留学生がいて、英語と日本語を交えて互いに教え合いながら会話しています。寮長としてはスポーツ大会を準備中です。日本に来た留学生がせっかくなら日本らしい体験をできるように、たくさんイベントを企画したいです。

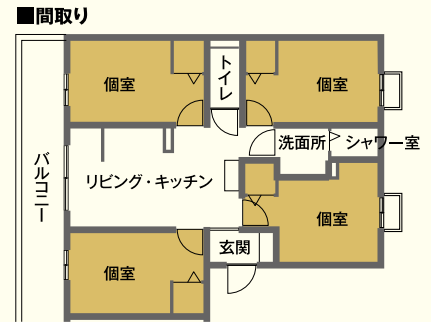


長崎県立長崎東高等学校 出身
横川 香菜 (1年)

いろんな国や地域の学生と交流したいと考えて、長崎市内出身でしたが寮生活を希望しました。台湾からの交換留学生と日本人学生との共同生活は毎日とても楽しくて、習慣の違いを感じることもあります。最近料理にハマっています。これから寮長としてイベントを企画して、いろんな学生と関わっていきたいです。

国際学寮ホルテンシア

- 【所在地】**長崎市内(大学まで徒歩12分程度)
- 【収容人数】**135人(A棟72人・B棟63人)1ユニット4人(外国人留学生1~2人を含む。)のルームシェア形式(ただし、1ユニットのみ車椅子対応の3人のルームシェア)※入学者の状況によっては、外国人留学生とのルームシェアとまらない場合があります。
- 【入居費用】**寄宿料25,000円/月、共益費3,000円/月(ただし、水道・ガス代を除く。)*月額が改定される可能性があります。寄宿料等は原則半期(6カ月)ごと4月及び10月に徴収します。また、入居時に借家人賠償責任保険等の加入、退去時のクリーニング費用として、10,000円が必要です。
- 【施設】**集会室、駐輪場
- 【設備】**《個室》エアコン、光回線インターネット、TV端子、照明、机、椅子、ベッド、電気スタンド
- 【セキュリティ対策】**カードキー対応玄関ドア、暗証番号対応個室ドア
- 【共有スペース】**シャワーブース、システムキッチン、ダイニングセット(テーブル、椅子)、冷蔵庫、電子オーブンレンジ、全自動洗濯機、衣類乾燥機等
- 【食事】**食事の提供はありません。共同キッチンで自炊することができます。



リビング・キッチン(共有スペース)。みんなで食事をとりながら団らんします。



個室。鍵もかけられるので、個人のプライバシーも確保されています。



集会室。プロジェクターが完備されていて、プレゼンの練習や勉強会もできます。



中庭。もちつき大会などのイベントを通して留学生や地域の方と交流します(写真は消防訓練)。

CHODAI(長大) LIFE

勉強はもちろんサークル活動や学内・地域イベントにも参加してキャンパスライフをより充実したものにしていきましょう。

4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September
入学式 新入生オリエンテーション 前期授業開始 新入生研修	開学記念日		オープンキャンパス 前期授業終了 前期定期試験	夏季休業	短期留学 海外インターンシップ フィールドワーク実習 (海外/国内)
					
入学式	長崎ハタ揚げ大会 稲佐山つつじまつり	あじさいまつり	ながさきみなとまつり 長崎ベーロン選手権大会 祇園祭	長崎夜市 原爆の日 精霊流し	中国盆 長崎居留地まつり 孔子祭

学生生活紹介 (小林さんの1年次前期の1週間)

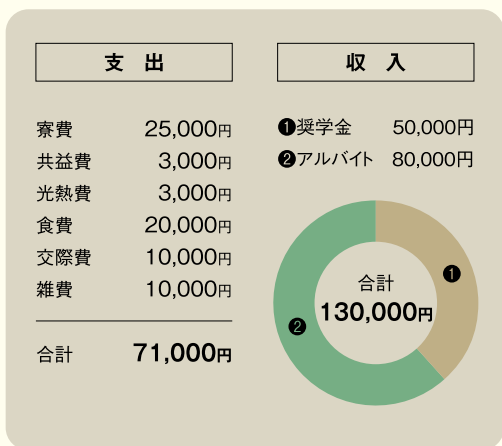
Weekly schedule

1年次前期の1週間の時間割

	月	火	水	木	金	土	日
1校時 (8:50~10:20)				グローバル キャリア入門	国際公共 政策入門		
2校時 (10:30~12:00)		情報基礎	Listening and Speaking	Reading and Discussion 1	多文化社会学の 諸問題II		
3校時 (12:50~14:20)		フランス語 I	地域経済と ソーシャルビジネス 1Q		多文化社会学の 諸問題I	休み	休み
4校時 (14:30~16:00)	Reading and Writing I	Listening and Speaking I	地域経済と ソーシャルビジネス	Reading and Writing I			
5校時 (16:10~17:40)		初年度セミナー					
6校時 (17:50~19:20)							

ここでは目安となる金額を挙げています。

学生の収支例



Student's Voice 学生の活動

フットサル部で大学日本一 勉強と両立しながら活動

藤田 佑 3年
国際公共政策コース

広島県立広島皆実高等学校 出身

小さい頃からずっとサッカーに打ち込んできて、中学3年間はオーストラリアで生活。現地の学校に馴染むにもサッカーがとても役立ちました。大学では国際的な学びと両立しながらプレーしたいと考えて、全学フットサル部FORZAに所属。朝練・夕練の短い時間でも強度の高いトレーニングを積み重ねながら、全国優勝を目指して活動しています。2023年度のリーグ戦にはキーパーとして試合に出場。念願の大学日本一を達成することができました。フットサルは大学から始めましたが、戦術も技術もサッカーと違って楽しめています。活動は週3日程度なので、講義の時間と重なることはありません。空き時間を利用してコツコツ勉強しながら、早めに課題を終わらせることを心がけています。特に1年次は忙しい学生生活でしたが、幅広いテーマで国際関係を学ぶことができる興味深い講義ばかりでした。3年次の夏からは1年間イギリスに留学予定です。もちろん現地でもサッカーはしたいですし、せっかくの機会なのでフットワーク軽くいろんな人たちと交流したいと思います。



チームは九州フットサルリーグに所属しています。部員のほとんどが他学部で、新しい交友関係が広がるきっかけにもなりました。

国際交流サークルを設立し 留学生との関係を深める

松岡 澤音 3年
国際公共政策コース

島根県立松江東高等学校 出身

留学生と日本人学生が気軽に国際交流できる全学サークル「Eureka!」を友人たちと立ち上げました。参加者同士が英語や日本語でお喋りしたり、自国の食や文化についてプレゼンしたり、時にはディスカッションやディベートを行うこともあります。また週末にはハイキングやスポーツに取り組んで、ハロウィンとクリスマスに合わせたパーティも開催。参加のハードルをなるべく低くして、緊張せずにコミュニケーションを楽しめる雰囲気を大切にしています。最初は知り合いだけで集まるような小規模な活動でしたが、SNSやチラシでの告知に力を入れながら自分たちで面白い企画を考えて、現在は毎回50名以上が集まっています。私は自分から人に話しかけるのが苦手なタイプでしたが、サークルでの活動をきっかけにいろんな国の友人ができました。これからドイツへの長期留学を予定しているので、ヨーロッパにいる留学生に必ず会いに行きます。そして今後はもっとサークル活動の規模を拡大して、より多くの人々が国際交流を楽しめる機会を提供できればと思います。



週末にハイキングを企画して、大学近くの山に登りました。気が向いた時に参加できるので、交流のきっかけになればと思います。

写真提供：©(一社)長崎県観光連盟

<h1>10</h1> <p>October</p> <p>後期授業開始</p> <p>長崎中華街中秋節 長崎くんち YOSAKOIささぼ祭り</p>	<h1>11</h1> <p>November</p> <p>学園祭 ホームカミングデー</p>	<h1>12</h1> <p>December</p> <p>冬季休業</p>	<h1>1</h1> <p>January</p> <p>新春もちつき大会</p> <p>のもぎき水仙まつり</p>	<h1>2</h1> <p>February</p> <p>後期授業終了 後期定期試験 卒業論文発表会</p> <p>ランタンフェスティバル</p>	<h1>3</h1> <p>March</p> <p>短期留学 海外インターンシップ 春季休業 卒業式</p>
---	--	---	--	--	---

令和7年度(2025年度)入試情報

Visit our website for details



求める学生像

- 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の基礎的・基本的知識を有している。
- 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
- 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ、それらについて批判的に思考できる基礎を有する。
- 世界の多文化状況を客観的に捉え、見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる基礎を有する。
- 自らの考えを整理し、表現するライティング能力(文章力)を有する。
- 多様な人々と共生的な関係を築き、協働する為に必要なコミュニケーション能力・自己表現力の基礎を有する。
- 世界の多文化状況や異文化交流に興味・関心を持ち、グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。

一般選抜

※詳細は、11月下旬頃発表予定の「令和7年度一般選抜学生募集要項」をご覧ください。

学力検査等の区分・日程	コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
		教科	科目名等
【前期】 2月25日 (火)	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	国 地歴	【5教科5科目】 国 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」 「地総/歴総/公」
	オランダ特別コース	公民 数 理 外情	「公,倫」,「公,政・経」 「数I」,「数I,数A」 「数II,数B,数C」 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」, 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 英,独,仏,中,韓から1 情報I

※「地理歴史、公民(以下、「地歴・公民」という。)」及び「理科」において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
なお、上記のとおり、「地理総合/歴史総合/公共」及び「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については2つを選択解答するため、選択解答した2つを1科目として採用する。

総合型選抜 I

※詳細については、7月上旬頃発表予定の「令和7年度総合型選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日
(第2次選考日)

令和6年10月12日(土)

選抜方法等

自己推薦書、諸活動の記録、調査書等、個人面接及び筆記試験の結果を総合して合格者を決定します。

一般枠の出願には、TOEFL iBT(Home Editionを含む)61点以上、TOEFL ITP 500点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版)1140点以上、又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
(注1) 外国語検定試験は、令和4年9月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和4年9月以降に受験した試験とする。
(注2) 外国語検定試験(TOEFL ITPを除く。)は公式スコア(TOEFL iBTはTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEIC IPは対象としない。
(注3) グローバル・国際バカロレア枠の出願要件については募集要項をご覧ください。

帰国生徒選抜

※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和7年度帰国生徒選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和6年11月13日(水)

選抜方法等

提出された書類及び面接(日本語及び英語による)の成績の結果を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT(Home Editionを含む)75点以上、TOEIC L&R 750点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上又はIELTS 6.0以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
(注1) 外国語検定試験は、令和4年11月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和4年11月以降に受験した試験とする。
(注2) 外国語検定試験は公式スコア(TOEFL iBTはTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。

外国人留学生選抜

※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和7年度外国人留学生選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和6年11月13日(水)

選抜方法等

「TOEFL等の成績」、「日本留学試験(日本語、総合科目及び数学コース1)」、「面接(日本語及び英語による)」の得点を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT(Home Editionを含む)61点以上、TOEIC L&R 730点以上又はIELTS 5.5以上のいずれかのスコアを必要とする。
(注1) 外国語検定試験は、令和4年11月以降に受験した試験に限る。
(注2) 外国語検定試験は公式スコア(TOEFL iBTはTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。

入学者選抜の基本方針

多文化社会学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される、論理的批判的思考力・判断力・表現力を評価します。また、入学後のカリキュラムを考慮して、選抜にあたっては英語を主とした外国語の運用能力と、多文化状況や異文化への興味・関心、学ぶことへの意欲も重視します。

令和7年度入学者選抜方法等の変更点まとめ

一般選抜(前期日程)の総合問題が小論文問題へ変更されます。

一般選抜(前期日程)の4コースについて、ペーパーインタビューが新たに課されます。

一般選抜(前期日程)、学校推薦型選抜IIの配点に「情報」科目が追加されます。

上記科目の変更に伴い、配点が変わります。

令和7年度(2025年度)入試については長崎大学入試情報サイトをご覧ください。



個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	小論文	面接又はペーパー・インタビュー	調査書	配点合計
外 その他	英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 英語コミュニケーションIII, 論理・表現I, 論理・表現II, 論理・表現III 小論文 ペーパー, インタビュー	共通テスト	100	*50		*50		200	20					420
		個別学力検査等						200			200	30	30	460
		計	100	*50		*50		400	20		200	30	30	880
外 その他	英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 英語コミュニケーションIII, 論理・表現I, 論理・表現II, 論理・表現III 小論文 面接	共通テスト	100	*50		*50		200	20					420
		個別学力検査等						200			200	30	30	460
		計	100	*50		*50		400	20		200	30	30	880

(注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

(注2) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科については第2解答科目は採用しない。

※配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

学校推薦型選抜II

※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和7年度学校推薦型選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日 **令和6年11月30日(土)**

選抜方法等

高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入学共通テストの成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定します。

コース名	大学入学共通テスト指定教科・科目	
	教科等	科目名等
国際公共政策コース	国	国
社会動態コース	地歴	「地総, 地探」, 「歴総, 日探」, 「歴総, 世探」, 「地総/歴総/公」から1(注1)
共生文化コース	公民	「公, 倫」, 「公, 政・経」から1(注1)
言語コミュニケーションコース	数	「数I」, 「数I, 数A」, 「数学II, 数学B, 数学C」から1(注2)
	理	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1(注3)
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1
	情	情報I
		[6教科6科目]

※「地総/歴総/公」及び「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については2つを選択解答するため、選択解答した2つを1科目として採用する。

(注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

(注2) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。

(注3) 理科を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

大学入学共通テスト・学力検査等の配点等												
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計
共通テスト	80	*40		40	40	80	10					290
学力検査等								170	30	(注1)	(注1)	200
計	80	*40		40	40	80	10	170	30			490

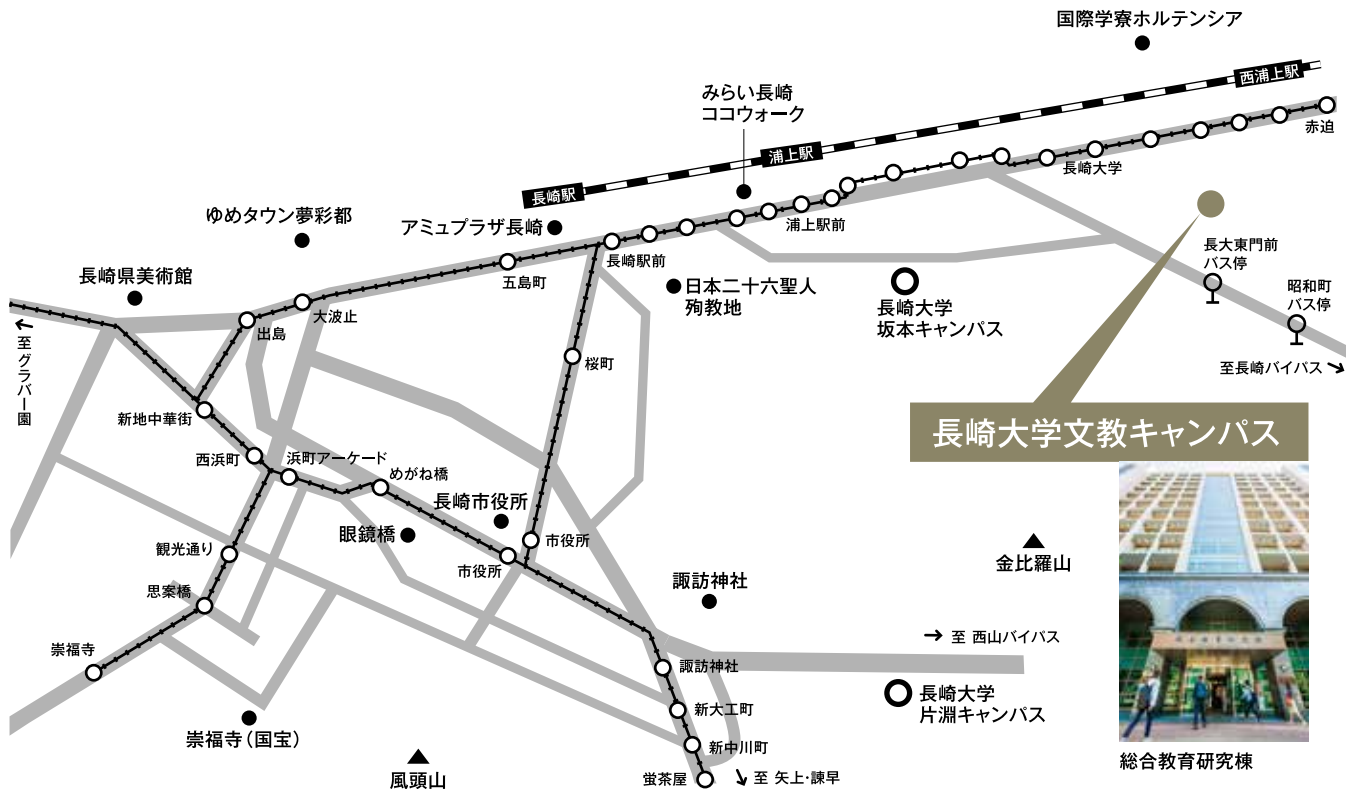
※配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

(注1) 調査書と推薦書については、面接の中で評価をおこなう。

募集人員

学部	学科等	入学定員	募集人員						
			一般選抜 前期日程	総合型選抜I		学校推薦型 選抜II	外国人留学生 選抜	帰国生徒 選抜	合計
				一般枠	グローバル・国際バカロレア枠				
多文化社会学部	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース オランダ特別コース	100	72	6	1	15	若干人	若干人	94
			3	3			若干人	若干人	6
		計	100	75	9	1	15	若干人	若干人

長崎大学文教キャンパスへのアクセス



総合教育研究棟

長崎大学
多文化社会学部
スマホサイトへ



JRをご利用の場合

JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

- 浦上駅から路面電車をご利用の場合
「浦上駅前」から「赤迫(あかさこ)」行き乗車
「長崎大学」で下車(所要時間 / 約10分)
- 浦上駅からバスをご利用の場合
「浦上駅前」から長崎バス1番系統「溝川」・「上床」・「上横尾」行き乗車
「長崎大学前」で下車(所要時間 / 約10分)

多文化社会学部
公式
ツイッター



多文化社会学部
公式
YouTube



高速バスをご利用の場合

各地より浦上経由長崎方面行きバスに乗車し、「昭和町」で下車、その後、徒歩で長崎大学東門まで約15分あるいは長崎大学正門まで約20分



航空機をご利用の場合

- 長崎空港(大村市)4番乗り場から空港リムジンバス乗車
- 長崎県営バス「昭和町・浦上経由」行き乗車
「長大東門前(ちょうだいひがしもんまえ)」で下車(所要時間 / 約40分)

多文化社会学部
公式
Instagram

